



去る、1月25日(火曜日)5限目の途中に、抜き打ちの「避難訓練」を実施しました。この日は、寒い中、しかもコロナ禍ということもあったのですが、比較的暖かく風もない日で、全校が集まると言っても、外で間隔をとることができる条件であったため、当初の計画通り、地震発生を想定した訓練を行いました。事前通告なしでの訓練ではありましたが、どの子も一生懸命に小走り第1グラウンドへと向かう姿が見て取れました。折しも、先日(1月22日)未明に、大分県では最大震度5強を観測する地震が発生。また、トンガでは想像を超える大規模火山爆発があり、日本にも津波の被害があったばかり。さすがに、亀山が、津波に見舞われることは考えられませんが、地震はいつどこで起こるかわかりません。日頃からの「備えあれば憂いなし」という言葉通りだと思います。この日の避難は、いずれの学年も約4~5分程度で集合でき、まずまずの成果であったと思います。



足早にグラウンドへと非難する生徒たち

ちなみに、保護者の皆さんはご存知の方も多くお見えてしょうが、中部中学校は、「井田川西地区」ならびに「川崎南地区」の「指定避難所」になっています。

新企画の『TEACHERS@中部中 リレーインタビュー』9回目となる今回は、杉本幹太先生です。

このリレーインタビューは、中部中学校に在籍する先生方にリレー形式でバトンを渡しインタビューしていくものです。だれにバトンが渡されていくのかお楽しみに!(^^)!

----- 早速ですが、中学校時代のことを聞きますね。出身はたしか大木中学校ですよね?

杉本 はい、そうです。バスケットをやっていて、先生にも大変厳しく指導してもらいました。

----- すると、その時のことを思い出して、今のバスケットボール部も指導していると・・・

杉本 そうですね、今の時代に合わないことは別にして、色々参考にしてやっているつもりです。

----- それは、たとえばどんなことですか?

杉本 バスケットは、初心者と経験者が混ざって部活動をしているので、誰でも楽しいと思えるようにしているつもりです。また、厳しさという意味では、自分たちで決めたことは必ずやるというように、とにかくチームワークを大切にしています。

----- 国語の先生を目指したきっかけは?

杉本 大学は文学部だったのですが、そもそも英語も好きで英語の先生になろうと思っていたくらいなんです。

----- それがまたどうして、国語を選んだのかな?

杉本 大学で言語コースを選んだのですが、日本語の面白さに気づいて・・・という感じです。

----- 大学は京都にあるということで、いいところですよ、京都は。僕も大好きなのですが、おすすめスポットとかありますか?

杉本 京都は老後に住みたいです(笑) 若者には、四条河原町かいわいがおすすめです。あと、嵐山は人気もあって、ぜひ訪れてほしいところの一つです。

----- 趣味や好きなものとかは何か?

杉本 映画とかアニメが好きでよく観ます。最近では、映画では『マトリックス』、アニメは『進撃の巨人』が良かったです。あと、ネコを2匹飼っていて癒されます。



杉本幹太先生



すぎもと かんた
佐藤先生 ➡ 杉本幹太先生

----- 担任をしてきている2年D組は、どんなクラスなんですか?

杉本 大変落ち着いた感じで、何事にも真面目に取り組むことができていると思います。

----- いいじゃないですか。あえて注文をつけるとすると、どういう点ですか?

杉本 もっと自分を表現して、言葉を発してほしいですね。自分というものを訴えるというか。

----- なかなか、難しいそうだけれどいい注文ですよ! 最後に、もうすぐ3年生になるクラスの子たちに、メッセージをください。

杉本 得意なこと、不得意なことにかかわらず、何事も習慣をつけてやっていきましょう!

----- では、どうもありがとうございました。

【インタビュー後記】

杉本先生は、ゆっくりしっかりと言葉を発されます。良い意味でクラスも同じ雰囲気なのでは。今後とも、若さをぶつけて部活に、授業に、学級指導に邁進してください。

★次回は、鈴木教史先生を予定しています。